

令和7年度 大学塾 第3ステージ 開催報告

千住開宿400年講座 千住宿400年の人と歴史

この講座は10月9日・16日・23日・30日(毎回木曜日)の4日間にわたり開催されました。本講座は、今年5月に開催いたしましたが、募集の2倍を超える多くの応募があり、応募者の約半分が落選となった為、講師のご厚意により落選者の対応と致しまして、今回の再開催に至りました。出席者は、第1回42名・第2回42名・第3回43名。第4回は現地学習で街歩きのため2組に分けて実施し、午前・午後併せて合計34名でした。

講師は「安藤昌益と千住宿の関係を調べる会」事務局長の矢内信吾氏。1回～3回までの座学と4回目の現地学習は、前回(5月)に開催されたものと同内容にて実施いたしました。

第1回は、「千住宿の成立と発展」として、千住宿の役割や整備の状況と農産物や物資の集散地となって江戸四宿で最大の人口を抱え、文化活動も盛んであったことが述べられた。又、宿場の役割り・仕組み・活発な文化活動など街の変遷が紹介された。時代と共にまちは南に拡大され、仲町・河原町・橋戸町が加わり、更に現在の荒川区の中村町・小塚原町が加わり、それぞれ北組・中組・南組と呼称され、「大千住」と言われるようになった。近郊には日光東照宮の大棟梁の甲良家に徳川家より1万坪の別荘地が与えられ、甲良屋敷が設置された。

第2回は、「千住宿の文化と医学のお話」として、甲良屋敷を譲渡された田村藍水は「雲和亭」と名付け、人参や本草栽培を行った。藍水の弟子・平賀源内は5回の「薬品会」を開催した。又、千住宿で人体解剖を行った杉田玄白と解体新書。安藤昌益の「自然真営道」が千住で発見されたいきさつについて詳しく解説された。昌益の医学を継承した川村寿庵と真斎の親子・橋本玄益・佐藤元長など。更に東大卒業後に父親の橋井堂医院のある千住に居住した森鷗外の千住とのかかわりや佐藤元長との関係について解説された。

第3回は、「千住の文化人たち」として、「甲良家の人々と甲良屋敷」では徳川家に登用された甲良家が日光東照宮の創立や補修を担当したこと。田村藍水は甲良家から屋敷を譲渡されて朝鮮人参を栽培、藍水の弟子に平賀源内がいて「薬品会」を開催したことなどが重ねて紹介された。松尾芭蕉は1689年に千住から「奥の細道」の旅を出発したこと。矢立初めの句は「行春や鳥啼き魚の目は涙」とも「鮎の子の白魚送る別れ哉」とも言われている。その他「千住酒合戦」「寺子屋・郡雀堂」「内田銀蔵」「河合栄治郎」などが紹介された。

第4回は、現地学習で「千住を歩く」

北千住西口交番前(出発)→旧日光街道→千住本陣跡→勝専寺(赤門寺)→河合栄次郎生家跡→森鷗外橋井堂跡→千住宿問屋場跡→慈眼寺(安藤昌益の原稿本『自然真営道』発見の地千住碑・橋本家の墓地)→佐藤元長墓園跡→墓屋橋本家跡→内田銀蔵生家→穀屋跡→掃部堤(墨堤通り)→橋本玄益晚成堂跡→仲町氷川神社→千寿小学校跡(芸術大学)→堀内亮一好生堂跡→甲良屋敷雲和亭跡(千寿常東小学校)→トラヤ内千住昌益文東京電機大学前(解散)

「現地学習」では、約2時間半、前3回の講義で話題となつたゆかりの地を講師と共に探訪致しました。

受講者のことば

- ・千住宿の成り立ちを知ることが出来、楽しい、特に安藤昌益の考え方方が参考になった。(80代男性)・あまりに詳しい調査・研究されてきた内容に驚き、そして感心しております。(70代男性)・地道な矢内先生の調査活動はとても面白い、また興味・関心をそそられたので、いま千住について足で調べ始めてる。足立区について、千住にとても熱意を感じさせる講座です。知らないことばかりで、とても興味深く拝聴させていただいている。足立区をアピールする事と、区民の皆様が興味をもってもらう事が大切だと思います。(70代女性)・千住に住みながら全く知らない人物について知ることができ、たいへん勉強になりました。(70代男性)・講座は久しぶりに申し込みました。春は落選しましたが、再度、開講して頂き有難うございました。期待どおりで興味深いようでした。(70代女性)・以前から興味のあった内容なので、さらに千住について興味が増しました。(70代男性)

(次ページに続く)

令和7年度 大学塾 第3ステージ 開催報告

千住開宿400年講座 千住宿400年の人と歴史

千住宿本宿と掃部宿界隈

4回目の「現地学習」では、講義で話題となったゆかりの地を講師と共に探訪し学びを深める事が出来ました。



千住宿開宿400年講座「千住宿400年の人と歴史」

講師：矢内 信悟 氏



北千住西口交番前(出発地)



勝専寺(赤門寺)



森 鳥外碑(橋井堂跡地)



問屋場・貴目改所跡(東京芸術センター前)



慈眼寺(橋本家の墓地)



内田銀蔵生家(鮎与)



佐藤元蓑藁園跡(千住介護福祉専門学校)



足立史談会(相川会長)



甲良屋敷雲和亭跡(千住常東小)

担当者所感

矢内講師は令和2年度に「千住の文化人 安藤昌益から佐藤元蓑・森鷗外へ」の講座を担当していただいたが、今回は「千住宿400年講座『千住宿400年の人と歴史』」として5年間のご研究の進捗と千住宿400年の歴史を興味深く講義していただいた。改めて感謝の意を表したい。

(糸井史郎)

令和7年 11月 運営委員会 報告・連絡

日 時：令和7年11月4日（火）14:30～15:00
場 所：生涯学習センター：5階 コンピュータ室

代表挨拶

皆さまご苦労様です。10月開催の千住宿開宿400年講座Ⅱは、体調の不調で1名の方が、しばらく活動を休止することとなりましたが、何とかスタッフの補充もでき、皆様のご協力を得て無事終了することが出来ました。少ない人数での運営には多くのリスクを含みますが、この一年は何とか頑張り抜きたいと思います。

このような事態を早期に回復させるためにも、何としても新たな会員の獲得が必須です。引き続き会員の募集に全力を注ぎたいと思います。11月15・16日開催されますNPOフェスタ2025にも会員急募のチラシを置いて頂くようにお願いしました。生学センターには、会員急募のチラシを置いて頂いて頂いています。

11月は、講座の開催は御座いません。12月開催の「幕末の真実を探る」の準備協力と、次年度前期の講座企画の立案に、ご協力を宜しくお願ひいたします。

議 事

(1) 情報交換 なし

(2) 月例会開催について

- ・10月18日（土）会員の学習会 上野東京国立博物館
- ・11月19日（水）新入会員 古川 映彦さんの活動報告
- ・12月17日（水）忘年会

(3) あだち区民大学塾：講座企画会議：10/1（水）、11/4（火）、検討会議：10/15（水）、11/19（水）

- ・10月 千住宿400年講座Ⅱ：前回抽選落選者へ案内ハガキを54枚 応募者47名 講師：矢内 信悟氏
10月9・16・23・30（木）研1、30日午前・午後 現地学習、
応募者47名 受講者 44名、延べ受講者 161名 現地学習：千住宿街歩き 好評だった。

- ・12月「幕末の真実を探る！」講師：穂高 健一氏、
12月2・9・23（火）研1

- ・2月 NHK大河「豊臣兄弟」関連 豊臣秀長と日本史のナンバー2 講師：跡部 蠻氏
2月14・21・28（土）研1

- ・3月 西洋絵画150年講座 印象派とは何だったのか？ 講師：島田 紀夫氏
3月3・10・17（火）講堂

*令和7年度合計 9講座（千住宿400年2回含む）

*令和8年度大学塾講座の検討を9月より開始した。まずは令和8年度前期5講座程度検討する。

8年度前期の研修室申込は12月～12月まで確定する

候補案：日本経済 講師：柴田 寛氏、京都関連講座（平安京から豊臣秀吉）講師：大沢 正明氏、
中世古文書（豊臣秀吉他）講師：高梨 真行氏、江戸の東郊の寺社：講師：大関 直人氏、
森 鷗外講座：倉本 幸弘氏

(4) サークルフェア2025 10月11日（土）、12日（日）開催

- ・場所はホワイエの入り口側、ポスター1枚、パネル6枚でPR。
- ・案内パンフレットに楽学の会の“急募”広告 出稿（2枚）、
- ・来場者へ積極的に会の紹介、入会勧誘した。



(5) 各部局からの報告および提案

①学習支援部：チラシ封入作業なし

②ボランティア活動推進部：今後の月例会の予定

③事務局：ニュース発送 11/4（火）、事務局部会 11/14（金）10月決算、

④広報グループ：楽学ニュース322号、ホームページ 11/1、メルマガ 11/1 225号

(6) その他

- ・社会教育 11月号 回覧

次回運営委員会 12月1日（月）14:30から（研4）

以上

訃報のご案内

11月5日(水)当会会員 元理事 原田進様が、享年87歳でご逝去されました。

当会では長年事務局に席を置き、多くの方がご教示いただくななど、当会の発展に大きく貢献頂きました。ここに原田様のご逝去を悼みご報告と謹んでお悔やみを申し上げます。

（事務局）

生涯学習センター 講座情報

◎講座名：古代エジプト ツタンカーメン王の時代～壁画から見る歴史～

あだち 100 年大学講座

日 時：1/17（土）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

定 員：50 人

受講料：800 円

会 場：足立区生涯習センター 研修室 1

講 師：村治 笠子 氏 古代エジプト壁画研究家

内 容：ツタンカーメン王墓は約 100 年前にハワード・カーターによって発見された小さな墓で、5000 点以上の壁画をはじめとした素晴らしい遺物が発見され宗教改革をした父王アクエンアテンや美女の義母ネフェルティティと共に有名です。彼らの時代と日本で見られるスーパーレプリカなども紹介いたします。

◎講座名：山階鳥類研究所連携

鳥の渡りと鳥類標識調査

あだち 100 年大学講座

日 時：1/24（土）午後 2 時～3 時 30 分

定 員：60 人

受講料：500 円

会 場：足立区生涯学習センター 研修室 1

講 師：水田 拓 氏 山階鳥類研究所 自然誌・保全研究ディレクター

内 容：鳥類に足環を装着することでその移動経路を調べる「鳥類標識調査」。1889 年にデンマークで始まったこの調査は、日本では四半世紀後の 1924 年に初めて実施されました。以来 100 年、調査は継続されさまざまな渡り鳥の移動経路が明らかになってきました。しかし、この調査から得られる成果は単に渡り鳥の移動だけではありません。

「鳥類標識調査」からどんなことがわかるのか、その全容を紹介します。

お申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口
インターネット[近所 de まなびナビ]で検索
イベント・講座情報→講座予約システム



ヨシとブタクサ 「秋の風物詩、日本古来の在来種と明治初期に伝來した要注意外来生物「花粉公害雑草」

令和 7 年 12 月 月例会のご案内

日 時：12 月 17 日(水)午後 5 時より

内 容：「振り返りと懇親会」

場 所：別途ご案内いたします。

(ボランティア活動推進部)

楽学インフォメーション

★会合のお知らせ★

◎ 運営委員会

12 月 1 日(月) 午後 2 時半～3 時 研修室 4

◎ 月例会（忘年会）

12 月 17 日(水) 午後 5 時～ 午後 7 時半

◎ 学習支援部

12 月 19 日(水) 午後 1 時半～2 時 研修室 4

◎ 事務局

12 月 1 日(月) 楽学ニュース発送

12 月 10 日(水) 午後 1 時半～ ワークルーム

◎ 広報グループ

メール会議

◎ 大学塾講座検討会議

12 月 17 日(水) 午後 4 時～ 4 時半 研修室 4

◎ 大学塾講座企画会議

12 月 1 日(月) 午後 2 時～2 時半 研修室 4

◎ 生涯学習センター 休館日

12 月 8 日(月)



★お問い合わせ & ご意見

◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ

事務局 福田哲郎 電話:090-3207-8444

E-Mail：tefukuda2002@yahoo.co.jp

編集後記

脱炭素化社会に向けて 地球温暖化がもたらす世界への影響！③

(322 号より)

世界的に脱炭素を目指している理由として、地球温暖化と資源の枯渇について記しましたが。少し掘り下げて考えてみましょう。

まず、地球温暖化が進むとどのような問題があるのか詳しく解説します。異常気象と自然災害：地球全体の温度が上がると、異常気象や自然災害のリスクが上がり、・干ばつや水不足・森林火災・熱中症の増加・豪雨の頻発発生や台風の強化などの問題や大災害が発生すると考えられます。日本でも熱中症による搬送者数や死亡者数が増加しています。他にも線状降水帯(短時間に激しい降雨)の発生が、都市部に於いても起こり、浸水被害が増加。巨大化した台風による河川の氾濫や高潮、強風による家屋の損壊や倒木、車両の横転、土砂災害などでの人的被害など、多様で重大な被害が発生しています。

また、地球温暖化の影響としては、進行する大地の砂漠化による食糧問題についても無視できません。

近年は干ばつによって土壌の水分が減ると農作物が育ちにくくなり、世界的に食糧不足に陥る国々や地域が増加しています。すでに貧困や飢餓が問題となっている地域では、食料不足によって内戦などの紛争が引き起こされています。日本でも地域に於いては、高温による水稻の品質低下、野菜では高温による葉焼けや生育不良、果実では、花落ちや奇形による品質の低下や収量の低下など、耕作適地の移動など、身近な農作物の生育にも影響が出ていることも事実です。このように、地球温暖化による異常気象や自然災害は、地球規模で発生、その被害の内容が多岐にわたることがわかります。(次号へ続く)

(金子勝治)